

第 5 期中間

事業活動のご報告

(2012年4月1日～2012年9月30日)

<http://www.otsuka.com/>

関連情報をホームページに掲載しています

財務情報や株式情報など、より詳しい情報をホームページに掲載しております。
ぜひご覧ください。



【表紙写真について】

大塚製薬袋井工場（静岡県袋井市）。ポカリスエット、アミノバリューを生産。敷地111,407㎡の約36.6%を緑が占める高い緑地率を誇り、「平成23年度緑化優良工場等経済産業大臣表彰」を受賞しています。

大塚ホールディングス株式会社

証券コード 4578

大塚らしい創造的な製品で 更なる成長を目指す



2012年度上半期における世界経済の状況として、欧州の債務危機や米国の財政緊縮等の不確実性の高まりなどを背景に、景気減速が先進国から新興国にも波及してきています。また、長引く円高の影響もあり、事業を取り巻く環境は非常に厳しい状況でありました。

医療関連におけるグローバルな事業環境は、先進国のみならず新興国も含めて医療費抑制策や新薬承認審査の厳格化、後発医薬品の使用促進策の推進などにより、依然厳しい状況のもとに推移しました。日本国内においても薬価改定や後発医薬品の更なる使用促進策が実施され、少なからず事業への影響を受けています。

このような事業環境の中、当社グループは2011年度からスタートした第一次中期経営計画2年目における重点施策を着実に推進することにより、厳しい外部要因を吸収して増収増益を確保いたしました。

医療関連事業においては、世界60カ国・地域以上で展開する「エビリファイ」がグローバルで引き続き売上を拡大し、世界の医薬品売上トップ10*1に入るまでに成長しました。また、グローバル展開中の「サムスカ」は、電解質排泄の増加を伴わず水だけを出す利尿剤というまったく新しい医療上の価値が徐々に浸透し、日・米・欧で売上を拡大しました。更に国内における新薬である「アロキシ」「アブラキサン」「イーケプラ」「サムスカ」などの順調な成長や「エルネオバ」の拡大に牽引された臨床栄養製品の堅調な売上拡大などが業績に貢献しました。

ニュートラシューティカルズ*2関連事業(NC関連事業)において

は、「ポカリスエット」の販売数量が、国内こそ昨年に及びませんでした。海外では前年同期比10%以上の伸長と好調を継続しています。8月より新たにベトナムでの販売も開始し、世界17カ国・地域での展開となりました。また、米国では、ファーマバイト社の「ネイチャーメイド」がウォルマート全店での採用や新製品の追加などにより順調に成長を継続しています。国内においては「Soylution」のコンセプトのもと、ヘルシー大豆スナック「ソイカラ」を4月に新発売しました。「Soylution」は「Soy」と「solution」の造語であり、NC関連事業においては、「身近で栄養豊富な大豆(Soy)が、地球上の健康問題・環境問題などの解決(solution)になる」とのコンセプトのもと、大豆の栄養をまるごと美味しく摂取できる製品の開発とグローバル展開に取り組んでいます。

今後も事業環境は厳しくなると予想されますが、当社グループは“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、世界の人々の健康に貢献することを目標に事業を展開するグローバルヘルスケア企業として、創造的な製品で更なる成長を目指してまいります。

“健康”という人類の普遍的な願いに貢献するために、様々なテーマに挑戦する大塚グループへ、皆様の尚一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 CEO

樋口達夫

*1 ©2012 IMS Health, IMS Healthホームページ「2011世界売上トップ20製品」無断転載禁止

*2 nutrition(栄養)+pharmaceuticals(医薬品)の造語

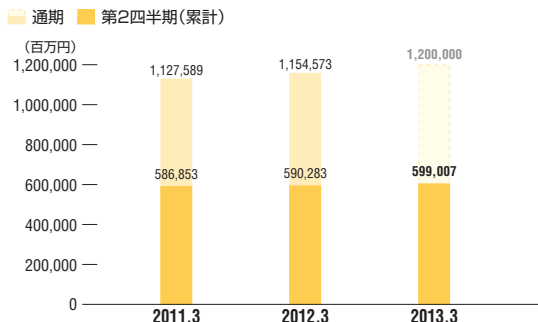
連結財務ハイライト(第2四半期累計)

Financial Highlights

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

売上高

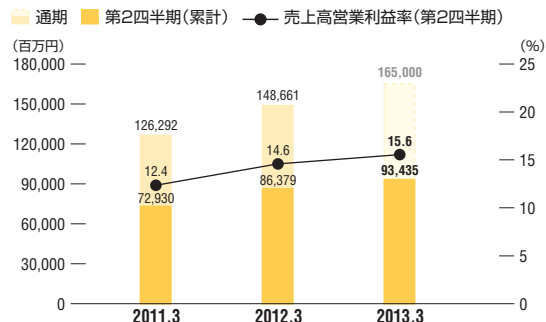
↑ **1.5% 増** (前年同期比)



イオン飲料「ポカリスエット」は、昨年の震災後の備蓄需要の反動と飲料各社からの新製品発売の影響を受け、前年同期の国内販売量を下回りましたが、抗精神病薬「エビリファイ」がグローバルで順調に推移したほか、ルンドベック社との提携による一時金の一部を売上計上した結果、売上高は599,007百万円(対前年同期比1.5%増)となりました。

営業利益

↑ **8.2% 増** (前年同期比)

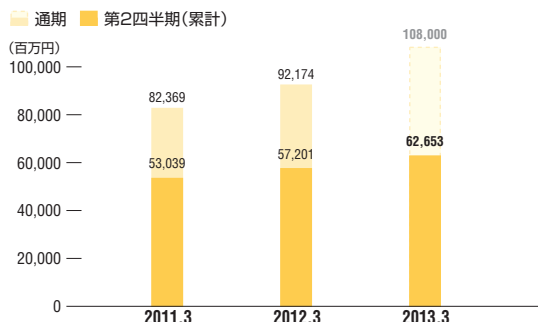


売上高の増加に伴う売上総利益の増加のほか、BMS社*との「エビリファイ」に関する売上配分比率の変更に伴う販売促進費の減少、及び研究開発費の減少等の結果、営業利益は93,435百万円(対前年同期比8.2%増)となりました。

*プリストル-マイヤーズ スクイブ-カンパニー社

純利益

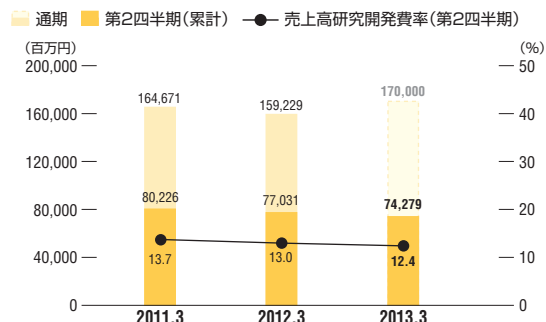
↑ **9.5% 増** (前年同期比)



経常利益は95,498百万円(対前年同期比11.7%増)となり、四半期純利益は62,653百万円(対前年同期比9.5%増)となりました。1株当たり四半期純利益は、113.26円となっております。

研究開発費

↓ **3.6% 減** (前年同期比)



研究開発費については、ルンドベック社との提携による開発費の軽減、プロジェクトの見直し等により、74,279百万円(対前年同期比3.6%減)となりました。

配当金

当期における中間配当金は、1株当たり28円とさせていただきます。

当期の年間配当金につきましては、中間配当金を含め、1株当たり58円(うち期末配当金30円)を予定しております。

● 詳しい内容は、ホームページをご覧ください

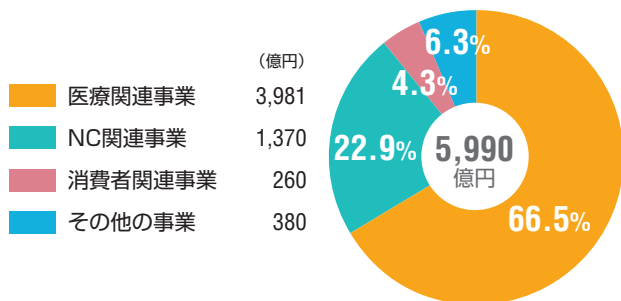
→ <http://www.otsuka.com/>

セグメント別概況

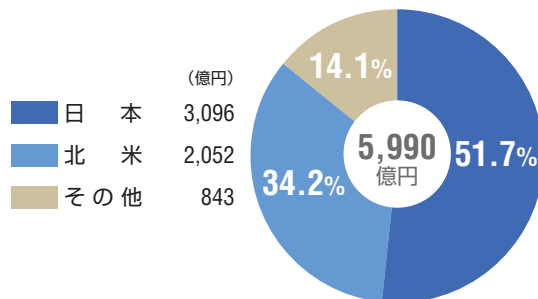
Segment Information

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

事業セグメント別売上高 (外部顧客に対する売上高)



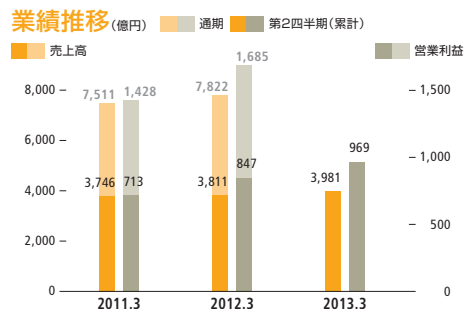
地域別売上高 (外部顧客に対する売上高)



医療関連事業

中枢神経領域では、抗精神病薬「エビリファイ」がグローバルで順調に推移しました。特に国内においては、双極性障害躁症状の適応追加により処方伸びたことで前年同期比二桁の伸長率にて売上を拡大しました。また、ユーシービージャパン(株)と日本で共同販促を行っている抗てんかん剤「イーケプラ」は、長期処方が可能になったことにより、売上が前年同期比で約三倍に拡大しました。がん・がんサポーター領域では、国内において、制吐剤「アロキシ」や抗がん剤「アブラキサン」といった新製品が順調に売上を拡大、抗がん剤「ティーエスワン」も堅調に推移しました。海外では造血幹細胞移植前治療薬「ブスルフェクス」が、骨髄移植前の処置薬として標準薬剤治療法を確立し、売上に貢献しました。循環器領域では、新製品である水利尿薬「サムスカ」が、グローバルで売上を拡大しました。抗血小板剤「プレタール」はジェネリックの影響等により売上が減少しました。臨床栄養分野では、高カロリー輸液「エルネオパ」が順調に伸長しました。

Pharmaceutical Segment



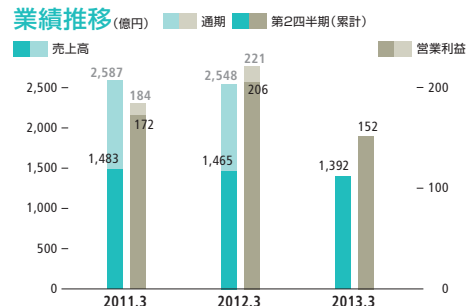
ニュートラシューティカルズ関連事業

Nutraceutical Segment

イオン飲料「ポカリスエット」は、国内では昨年の震災による備蓄需要の反動と飲料各社からの新製品発売の影響を受け、前年同期の国内販売量を下回りましたが、海外ではインドネシアと中国における販促活動が奏功し、販売数量が前年同期比二桁増の力強い伸びを見せました。

炭酸栄養ドリンク「オロナミンC」は、競合他社からの新製品発売による競争激化の中、ブランドに対する信頼感の強さと販促活動により、販売量は微減にとどまりました。

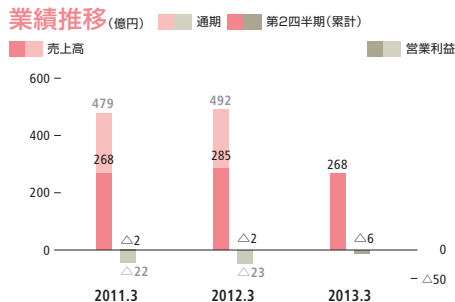
大塚グループでは、大豆(Soy)が地球上の健康問題、環境問題などの解決(solution)になるという「Soylution」の考えのもと、大豆の栄養をまるごと摂取できる製品の展開を進めています。「Soylution」製品として4月にヘルシー大豆スナック「ソイカラ」が加わり、フルーツ大豆バー「ソイジョイ」、大豆炭酸飲料「ソイッシュ」とともに展開を進めています。



消費者関連事業

Consumer Products Segment

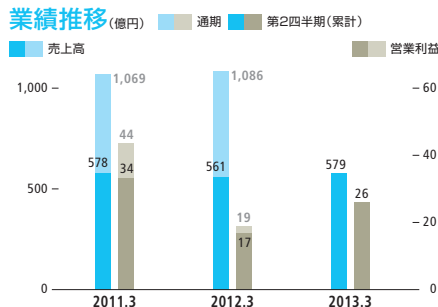
「クリスタルガイザー」を中心とするミネラルウォーターは、昨年の震災による備蓄需要の反動等により販売数量は前年同期比で減少となりました。ビタミン炭酸飲料「マッチ」は、高校生をコアターゲットとした積極的なマーケティング戦略・営業活動等により、順調に販売数量を伸ばしました。



その他の事業

Other Segment

機能化学品分野では、スマートフォン向けカメラ部品の伸長や、自動車分野での北米の復調により回復基調にはあるものの、欧州経済危機に伴うタイヤ用原料の販売減少や液晶パネル用原料の販売低迷により売上は微減となりました。ファインケミカル分野では震災の影響により生産を停止していた医薬中間体の生産再開などにより増収となりました。



※各セグメントの「業績推移」の金額はセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれています。

開発品の状況

Pipeline Information

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

開発品目一覧

2012年9月末現在で第Ⅲ相臨床試験段階(フェーズⅢ)以降にある開発品目を以下に示します。
(詳細は当社ホームページをご覧ください)

領域	開発コード/製品名(一般名)	効能/剤型	開発段階					
			日本		米国		欧州	
			フェーズⅢ	申請中	フェーズⅢ	申請中	フェーズⅢ	申請中
中枢神経 領域	OPC-14597 (エビリファイ) (アリピラゾール)	統合失調症/持効性注射剤	●			●	●	
		大うつ病補助療法/経口剤		●				
		トゥレット障害/週1回経口剤			●			
		双極性障害/持効性注射剤			●			
	L059 (イーケブラ) (レベチラセタム)	小児てんかん部分発作/経口剤		●				
		てんかん全般発作/経口剤	●					
		てんかん部分発作/注射剤	●					
		てんかん部分発作の単剤療法/経口剤	●					
	SPM-962 (ロチゴチン)	パーキンソン病/貼付剤		●				
		レストレスレッグス症候群/貼付剤		●				
OPC-34712 (brexipiprazole)	大うつ病補助療法/経口剤			●			●	
	統合失調症/経口剤	●		●			●	
がん・がん サポーター 領域	S-1 (ティーエスワン) (テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム)	胃がん/経口剤			●			
		子宮頸がん/経口剤	●					
		肝細胞がん/経口剤	●					
	ABI-007 (アブラキサン) (アルブミン結合バクリタキセル)	非小細胞肺癌/注射剤		●				
		胃がん/注射剤		●				
	OVF (フェンタニルクエン酸塩)	がん性疼痛/口腔粘膜吸収剤		●				
	TSU-68 (orantinib)	肝細胞がん/経口剤	●					
	TAS-102	結腸・直腸がん/経口剤	●		●		●	
SATIVEX (nabiximols)	がん性疼痛/口腔内スプレー製剤			●				
循環器 領域	OPC-41061 (サムスカ) (トルバプタン)	常染色体優性多発性嚢胞腎/経口剤	●*1		●*1		●*1	
		肝性浮腫/経口剤		●				
その他 領域	YP-18 (ソシン) (ピベラシリンナトリウム、タゾバクタムナトリウム)	腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎/注射剤		承認				
		発熱性好中球減少症/注射剤	●					
	OPC-12759E	ドライアイ/点眼剤(ユニットドーズ)			●			
		ドライアイ/点眼剤(マルチドーズ)	●					
	OPC-262 (サキサグリブチン)	2型糖尿病/経口剤		●				
	OPC-6535 (テトミラスト)	クローン病/経口剤	●*2					
	OPC-67683 (デラマニド)	多剤耐性肺結核症/経口剤	●		●		●	
OPB-2045G	消毒剤	●						

*1 フェーズⅡ-Ⅲ追加臨床試験を準備中 *2 フェーズⅡ/Ⅲ

医療関連事業

患者さんの服用しやすさを追求した
抗精神病薬「エビリファイOD錠」新発売

世界60カ国・地域以上で発売され、世界の医薬品売上トップ10に入る薬剤となった抗精神病薬「エビリファイ」（一般名：アリピプラゾール）の新剤形として、患者さんの服用しやすさを追求した「エビリファイOD錠^{※1}」を日本国内で2012年5月に発売しました。甘みがあり、口の中に入れると数秒で溶けます。今までの錠剤と比べ、高齢者など嚥下（えんげ：口の中の物を飲み下すこと）が困難な患者さんにとっても飲みやすく、外出先などでも水なしで飲めるため確実な服薬が期待できます。

「エビリファイ」は、世界で初めてのドパミンD₂受容体パーシャルアゴニスト作用を有する抗精神病薬で、国内では「統合失調症」及び「双極性障害^{※2}の躁症状」の治療に用いられています。これらの疾患の治療では長期にわたり薬を服用し続けることが大切ですが、従来の抗精神病薬では「眠気」などの副作用が原因で服用をやめてしまう問題がありました。「エビリファイ」は、これらの副作用が生じにくいことに加え、今回の「エビリファイOD錠」により、剤形の面からもQOL（生活の質）を損なうことなく服用し続けられることを目指します。

※1：Orally Disintegratingの略称。通常の錠剤とは異なり、口の中ですぐに溶ける製剤です。

※2：双極性障害は、躁うつ病とも呼ばれる疾患で、症状として躁状態とうつ状態を繰り返す病気です。

ニュートラシューティカals関連事業

水分・電解質補給飲料「ポカリスエット」、海外展開を加速

「ポカリスエット」はアジアを中心に世界各国で支持され、発売から30年以上が経った今では、海外の販売本数が日本国内を上回るまでに成長しています^{※1}。

本年5月には、中国における需要の拡大を受け、広東省江門市に「ポカリスエット」の新工場を設立しました。拡大する需要に対応するとともに、上海市、広東省での販売強化、更なる拡大を目指します。新工場は、中国では珍しく地域に開かれた「楽しく学べる工場」をコンセプトとして、積極的に工場見学希望者を受け入れるとともに、水分補給の重要性と「ポカリスエット」の機能性価値の訴求に一層注力します。

加えて、この8月、「ポカリスエット」は経済発展が急速に進むベトナムに新たに進出しました。これにより「ポカリスエット」の展開国を17カ国・地域^{※2}に拡大しています。ベトナムは、世界13番目の人口（約8,700万人）を有し、平均年齢28歳^{※3}という若年人口を中心として、市場の活性化が見込まれます。この度の進出により、「ポカリスエット」の機能性や水分補給の重要性を訴求し、新たな地での「ポカリスエット」のブランド構築を目指します。



※1：販売本数ベースで2008年度に海外が国内を上回りました（社内データ）。

※2：日本、台湾、シンガポール、バーレーン、サウジアラビア、オマーン、アラブ首長国連邦、韓国、インドネシア、タイ、マレーシア、中国、クエート、カタール、フィリピン、エジプト、ベトナム

※3：Nielsen・2012 Pocket Reference Book、国連（2011）、World Population Prospects: The 2010 Revision

◎会社概要(2012年9月30日現在)

会社名	大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)
設立	2008年7月8日
資本金	816億90百万円
本店	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目9番地
東京本部	〒108-8241 東京都港区港南二丁目16番4号 品川グランドセントラルタワー
従業員	70名 (大塚ホールディングス連結従業員数:24,871名)
連結対象会社数	連結子会社 70社、持分法適用会社 14社

◎株式の状況(2012年9月30日現在)

●発行可能株式総数	1,600,000,000株
●発行済株式の総数	557,835,617株
●株主数	39,923名

◎大株主(2012年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
野村信託銀行株式会社 大塚創業家持株会信託口	64,966	11.82
大塚エステート有限会社	34,515	6.28
大塚グループ従業員持株会	26,772	4.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	17,914	3.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	14,049	2.55
株式会社阿波銀行	10,970	1.99
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	9,866	1.79
大塚アセット株式会社	9,190	1.67
東邦ホールディングス株式会社	5,670	1.03
株式会社りそな銀行	5,064	0.92

(注)1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

2. 持株比率は自己株式(8,260,915株)を控除して計算しています。

◎株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
基準日	定時株主総会・期末配当金 中間配当金	3月31日 9月30日
定時株主総会	毎年6月	
1単元の株式数	100株	
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部	
公告方法	電子公告 公告掲載アドレス http://www.otsuka.com/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。)	

◎株式に関するお手続きについて

株式に関する各種お手続きにつきましては、ご所有の株式が記録されている口座(証券会社等の口座・特別口座)によって窓口が異なりますので、ご注意ください。

お手続き・ ご照会の内容	特別口座に 記録された株式	証券会社等の 口座に 記録された株式
単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・氏名等の変更 配当金の受領方法・振込先の変更	特別口座の口座 管理機関である 「三菱UFJ信託銀行 株式会社」にお 問い合わせくだ さい。	口座を開設され ている証券会社 等にお問い合わせ ください。
特別口座の残高照会 特別口座から一般口座への振替請求	—	—
郵便物の発送・返戻に関するご照会 未払い配当金に関するご照会 その他株式事務手続きに関する一般的なご照会	株主名簿管理人である「三菱UFJ信 託銀行株式会社」にお問い合わせくだ さい。	

大塚ホールディングス株式会社

●詳しい内容は、ホームページをご覧ください

<http://www.otsuka.com/>

